

基礎調査結果を踏まえた次期プラン策定の方向性について

アンケート調査で国や県の動向を踏まえて重点的に調査した4つの項目を中心に、
①基礎調査から見えた現状・ニーズを踏まえ、②次期プランにおける課題や方向性について要点をお示しします。

相談支援

関連施策 柱1 - 施策1 包括的相談支援体制の充実

①基礎調査から見えた現状・ニーズ

- 1. 身近な場所に、困ったときの相談先が必要
- 2. 専門的な知識を持った相談員が必要
- 3. 委託相談支援事業所の役割が不明瞭
- 4. 整備した包括的相談体制を活用するため、顔の見える関係作りが必要



②次期プランにおける課題・方向性

- 1. 相談支援専門員の相談支援の質の向上
- 2. 委託相談支援事業所の役割の明確化
- 3. 地域資源活用のためのネットワーク作り支援



既存資源の質の向上, 効果的な活用

情報アクセシビリティ

関連施策 柱1 - 施策3 情報提供の充実

①基礎調査から見えた現状・ニーズ

- 1. 情報入手に多様な媒体が活用されている
- 2. 情報入手しやすいとはいえ、受け取った情報もわかりにくいことがある
- 3. 意思疎通支援など含め、障害特性や年代に応じた情報提供が必要



②次期プランにおける課題・方向性

- 1. 情報にアクセスしやすい環境の整備
- 2. 受け取る人に「わかりやすい」情報の提供



提供媒体の多様化や情報集約, 表現の検討

関連施策 柱1 - 施策2 権利擁護体制の充実

権利擁護

①基礎調査から見た現状・ニーズ

1. 成年後見一次相談窓口の認知度は低く、窓口側も周知不足を認識
2. 差別解消法の認知度は高くない
3. 当事者、市民とも障害者差別はあると認識



②次期プランにおける課題・方向性

1. 成年後見一次相談窓口の利用促進
2. 差別解消法の周知・啓発



既存制度の利用促進、差別解消に向けた取組充実

関連施策 柱3 - 施策2 拠点機能の整備による社会参加活動・交流事業の推進

社会参加

①基礎調査から見た現状・ニーズ

1. 身近な場所で社会参加するための機会が不足
2. 社会参加のためには障害特性に応じた配慮を含めた障害理解が必要
3. 市民が障害者と交流する機会は多くない



②次期プランにおける課題・方向性

1. 機会創出を含めた社会参加しやすい環境整備
2. 市民が活動する場での交流機会創出



社会参加の機会充実

その他

暮らし

①現状・ニーズ

- ・ 地域生活（在宅生活）を維持したい、そのためのサービスを充実してほしい
- ・ 身近なところで障害者が暮らすことに抵抗がないと答えた市民が多い

②課題・方向性

- ・ 関係機関のネットワーク化、障害特性や生活状況に応じたサービスの選択

こども

①現状・ニーズ

- ・ 幼稚園・保育園・学校等での専門的な支援、インクルーシブ教育システムの充実
- ・ 義務教育終了や高校卒業後に切れ目のない支援が必要

②課題・方向性

- ・ 必要な支援の提供や環境の構築、連携強化